

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

現在、八千代医療センター母体胎児科では、本学で保管している診療情報を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 産科病棟における後期早産児の母子同室支援

[研究対象者] 2024年4月1日～2025年3月31日までの間に当院で出産され、産後に母子同室となったお母様とその赤ちゃん。ただし、妊娠37週以降で出産され、赤ちゃんの出生体重が2500g未満だったお母様とその赤ちゃんは対象外となります。

[利用している診療情報等の項目]

お母様の診療情報：分娩様式、分娩週数、初経産、年齢、分娩所要時間、母体合併症、母子同室の時期、入院中・退院後・1か月健診時の不安の有無とその内容、退院時のWhooley2項目質問票の結果、退院後の母乳外来および2週間健診受診の有無、退院後のEPDS

赤ちゃんの診療情報：出生様式、在胎週数、NICU入院の有無、出生体重および1か月健診までの体重の推移、合併症発症の有無（呼吸異常、低体温、低血糖、黄疸、哺乳不良）、定期診察以外での新生児科医師の診察の有無とその内容、母子同時退院の状況、退院後の受診の有無とその理由、退院後の再入院の有無とその理由、分娩前の母体子宮収縮抑制剤投与の有無（薬剤の種類含む）

[利用の目的] （遺伝子解析研究：無）

後期早産児とその母親に対する母子同室に必要な支援を明らかにします

[共同研究機関及び研究責任者]

上記の診療情報等を、下記機関に共同研究実施のために提供します。

1、東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科助産学領域 松村未葉

[研究実施期間] 研究機関長の許可日より2026年3月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

研究代表機関の倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水治

研究責任者：東京女子医科大学附属八千代医療センター 助産師 松村未葉

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学附属八千代医療センター 松村未葉

電話：047-458-6000（応対可能時間：平日 9時～16時）